

わたしの 歩んだ道

Vol.28



いたに しゅんすけ 井谷俊介さん (パラアスリート)

春日井市在住。三重県出身。SMBC日興証券株式会社所属。インドネシア2018アジアパラ競技大会100mで金メダルを獲得。ドバイ2019世界パラ陸上競技選手権大会で日本人初の100m・200mで決勝に進出。杭州2022アジアパラ競技大会で200m金・100m銀メダルを獲得。200mではアジア新記録を樹立。

■出場クラス：T64 (片足膝下義足を装着し競技するもの)100m・200m

子どもの頃の夢はレーサー

私は小さい頃から体を動かすこと、特に走ることが大好きで、毎日スポーツをして遊ぶ活発な子どもでした。小学生の頃、家族によく連れていってもらった鈴鹿サーキットで、F1やさまざまなレースを見るうちに、レーサーのカッコよさに憧れを抱くようになり、いつしか夢に変わりました。

みんなの喜びが生きる力に

大学在学中の平成29年2月、バイクで走行中に事故に遭い、右膝から下を全て失いました。レーサーの夢半ばで、失意のどん底にいました。それでも、家族や友人が励ましてくれたり、一緒にリハビリに付き添ってくれたりと全力でサポートしてくれて、周りの存在の大きさに改めて気付くことができました。みんなに恩返しをしたい、喜ばせたいという一心で、レースの世界に義足でもう一度挑戦したところ、目指していた夢のレーサーになることができました。一緒に喜んでくれた友人たちの顔は

今でも忘れられません。

『今の自分を受け入れ、自分を信じ、周りの人への感謝を忘れない。』私が大切にしていることです。

義足ランナーとして大きく成長

もう一つの人生を変えた出来事が、今取り組んでいる陸上競技です。事故に遭い、退院後、母親の勧めで義足ランナーが集まる陸上クラブ

を見学し、競技用義足で実際に走る体験をしました。2か月ぶりに自分の足で走りましたが、風を切る感覚が本当に心地よく、自然と笑顔になっていて自分がいました。走る楽しさとみんなをもっと喜ばせたいという思いから、東京パラリンピック出場を目標に、陸上競技に挑戦することにしました。

努力を重ね、東京パラリンピック代表に手が届くところまでいきました。コロナによる開催の延期や強力なライバルの出現などにより、東京パラリンピック出場を逃し、目標だった夢舞台が幻となりました。凄く落ち込み、一時は

競技生活の引退も本気で考えました。それでも挫折を糧に、自分を見つめ直し努力を重ね、令和5年10月「杭州2022アジアパラ競技大会」において200m金メダル、100m銀メダルを獲得することができ、200mではアジア新記録も樹立しました。

夢はパリパラリンピック出場

今年開催されるパリパラリンピックへの出場を目標に、自分を信じ、周りへの感謝を忘れず、これからも努力を続けていきたいと思えます。

夢をかなえるために

勉強やスポーツ、習い事など、何でもいいので自分が全力で打ち込める夢を見つけてください。仮に夢がかなわなかったとしても、そこに向かって一生懸命挑戦することが自分を大きく成長させてくれると思います。家族や周りへの感謝を忘れず、挑戦し続けてほしいと思います。

